

新型コロナウイルス感染防止対策

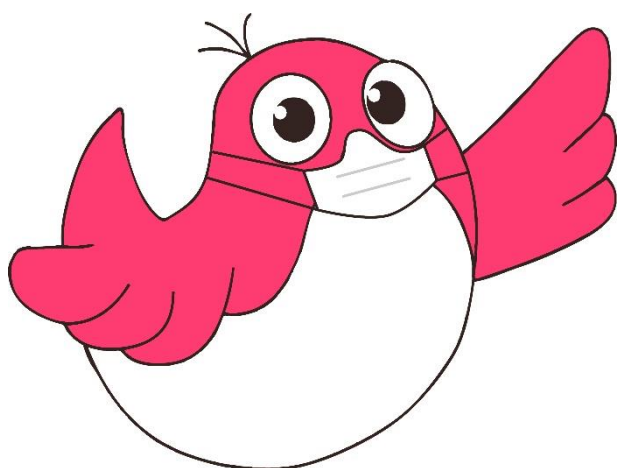
ー施設利用ガイドブック ver.3ー



福島県郡山自然の家

もくじ

はじめに	1
生活について	3
宿泊に際して	4
食堂・浴室の使い方	5～6
研修室、事務室等の使い方	7
所バスの利用について	8
活動プログラム	9～11
体調確認表	12～15
館内配置図	16
所ガイドマップ	17



はじめに

郡山自然の家では、コロナウイルス感染防止のため「新しい生活様式」を取り入れながら、当施設での体験活動を安心・安全かつ有意義に行っていただくためハンドブックを作成しました。「利用の手引き」の変更点ならびに重要事項を抜粋して記載していますので、ここに記載のない項目は、これまでの「利用の手引き」をご確認ください。なお、国による新たな基準の公表や変更、福島県教育委員会の指示により、随時、見直し・改訂をしていきますことをご了承ください。

○利用制限

1. 宿泊室および活動エリアのスペースに余裕を持たせるため、1日当たりの利用定員を当面の間1団体とします。

日帰り利用については、食堂の利用がある場合は1回の定員31名、最大2回転62名の利用となります。ない場合は100名とさせていただきます。

宿泊での利用については62名まで受け入れいたします。

2. ロッジについては利用を休止させていただきます。

3. ご利用日の14日前からの検温や、新型コロナウイルスに感染した方及び感染の疑いのある方との濃厚接触者ではないことを確認のうえ、来所をお願いします。

以下1つでも該当する場合は利用をご遠慮いただきます。

- ①37.0℃以上の発熱がある。
- ②平熱比+1℃以上の発熱がある。
- ③息苦しさ（呼吸困難）・強いだるさがある。
- ④軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある。

4. 利用申し込みは、web サイトなどでお知らせしていきますので、随時ご確認くださいませよう、よろしく願いいたします。なお、申し込み係る提出書類等は、通常通りですが、加えて「**体調確認表**」「**同意書**」のご提出をお願いします。



ご利用の際に持参いただくもの

団地で準備



①保健室利用のためのシーツ一式

枕カバー（バスタオル等でも可）・敷布団用シーツ・掛布団用シーツ
※リネン代180円で貸出しも可能です。

②消毒液 ③体温計 ④ゴミ袋 ⑤救急バッグ

⑥ビニール製手袋(食事配膳時、宿泊後館内消毒作業時使用)

⑦宿泊後館内消毒作業用雑巾(不織布、キッチンペーパーなど)

個人で準備

同行される講師、運転手、添乗員、カメラマンにも
団体責任者からお伝えください。

①マスク ②ハンカチ ③上履き

貸出用のスリッパは
ございません。

④うがい用コップ ⑤健康保険証

⑥洗面用具一式

浴室にシャンプーやボディーソープは
設置しておりません。

⑦着替え入れ

浴室に脱衣かごを設置しておりません。
各自袋などご持参ください。

⑧長袖、長ズボン、靴下、タオルなど

⑨宿泊時、枕に巻くためのタオル、バスタオル



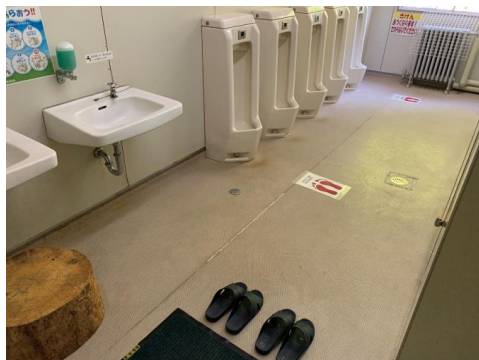
○生活について

1. 健康管理のお願い

- ・ 日帰りは、1日2回（入所時、退所時）、宿泊は2日間で4回（入所時、就寝時、起床時、退所時）の検温および健康観察をお願いします。
- ・ 発熱、咳、だるさ（倦怠感）等の症状があった場合は、直ちに事務室（夜は警備員室）へ連絡してください。
- ・ 体調不良の際は、保健室等の積極的な利用をお願いします。

2. 活動中のお願い

- ・ 屋内ではマスクの着用を徹底してください。なお、運動時は活動状況に応じて所員と相談の上、引率責任者が着用について判断してください。
- ・ こまめな手洗い、手指の消毒をお願いします。
- ・ トイレ使用にあたっては、準備してあるスリッパの数が一度に入室できる人数になります。



- ・ 3密（密閉・密集・密接）の回避に心がけてください。各施設には当面の間の定員を設けます。
- ・ できるだけ、屋外の活動を計画してください。
- ・ 屋内では、定期的に換気を行ってください。
- ・ 近距離での会話や、大きな声、身体接触の伴う活動はお控えください。
- ・ 屋外であっても十分な距離を取って活動してください。
- ・ ごみの処理に関しては、団体の責任においてお持ち帰りをお願いいたします。

◎原則として、以下の標準生活時間を目安に、活動していただきます。

起床 検温	朝食	宿泊室 点検	午前の 活動	昼食	午後の 活動	夕食	夜間の 活動	入浴	検温 就寝
6 : 30	7 : 30 ～ 8 : 30	8 : 40 ～ 9 : 00	9 : 00 ～ 12 : 00	12 : 00 ～ 13 : 00	13 : 00 ～ 16 : 00	17 : 20 ～ 18 : 30	19 : 00 ～ 20 : 30	19 : 00 ～ 21 : 30	22 : 00

- ◆代表者の方は16時半から17時の間に事務室窓口に来ていただき、連絡事項を受け取ってください。
- ◆食堂は1回の座席数を31名とし、利用時間を指定させていただきます。
- ◆入浴は完全入れ替え制とし、利用時間の配分については、引率責任者にお任せいたします。
- ◆活動時は3密を避け、ゆとりをもって計画し活動を行ってください。

○宿泊に際して

1. 宿泊等について

・宿泊室の定員

各部屋の定員は6名です。13号室だけが5名となります。また、特別室「きびたき」については3名となります。

使用できるベッドについては、下記のとおりです。当日にAまたはBどちらかの使用表示がされています。

例) 1～8号室

窓側

上段	A	B	A
下段	B	A	B
下段	A	B	A
上段	B	A	B

右側

←入口

左側



- ・シーツ及び枕カバーについては、リネン庫横のテーブルに準備してあります。引率者の指示に従い、各自必要枚数を各部屋に運び込みベッドメイキングを行ってください。特に枕については各自持参したタオルで全体を包み込んでください。
- ・起床後、シーツ及び枕カバーについては、部屋ごとにまとめたのち所定の場所まで戻してください。
- ・チェックリストをもとに引率者の指示に従い、部屋ごとに清掃・消毒を行ってください。



〈シーツ・枕カバー準備場所〉

2. 部屋での過ごし方

- ・可能な限りマスクを着用してお過ごしください。
- ・定期的に換気を行ってください。
- ・近距離での会話や、大きな声、身体接触を控えてお過ごしください。

3. 翌朝、部屋掃除の前に、荷物を整理し指定された場所(体育館 or 研修室)へ荷物を移動させてください。その後、宿泊室にもどり清掃・消毒をお願いします。

4. シーツ及び枕カバーの返却方法

- ・部屋ごとに指定された方法で返却場所へ運んでください。
万が一汚してしまった場合や発熱者が使用した物については一緒に返却せず職員の指示に従ってください。



〈シーツ・枕カバー返却場所〉

5. 退所日の点検について

- ・宿泊棟内の整理整頓、清掃については、従来通りの実施をお願いします。
- ・宿泊室点検チェックシートを基に高頻度接触部位（スイッチ、ドアノブ、掃除用具庫の取手、清掃用具、窓の鍵、ベッドまわりと手すり、はしごなど）を所で準備した消毒液にて消毒作業にご協力ください。

6. 検温について

- ・就寝時及び起床時には、必ず検温をお願いします。検温結果について、警備員に確認を受けてください。発熱や体調がすぐれない場合は、速やかに保健室に移動し退所等の対応をお願いします。

○食堂の使い方

1. 1回の入室を31名とします。31名を超える場合は、体育館で待機となりますので、体育館での過ごし方をあらかじめご検討ください。

2. 3密を避けた座席配置で（横並びで間隔をあけて）お座りください。



3. 食堂の利用については、事前にお知らせした時間内での利用をお願いします。
また、利用者の摂食状況に応じて、摂食スピードの遅い児童生徒等が先に食べ始めることができるよう列の並び等、配慮をお願いします。

4. マスク着用、入室前の手洗い、手指の消毒を徹底してください。

5. 配膳等で並ぶ際は足下の印に沿って並んでいただきます。団体引率者は密集しないよう参加者への指導をお願いします。



6. 団体引率者に、ご飯・みそ汁・飲み物等の盛り付けをお願いいたします。おかわりは、児童生徒等は席を立たず配膳担当者が新しい食器で席まで配布してください。なお、食物アレルギーについては必ず事前にお知らせください。



7. 摂食時のみマスクを外し、食事が終わったらマスクを着用してください。その際マスクは所定の場所に入れておくよう指示してください。

○浴室の使い方

1. 入浴時間は19:00~21:30です。1回の入浴時間は15分を目安として下さい。

2. 3密を避けるための利用人数は、大浴室が5名、中浴室4名となります。

3. 浴室中でもできる限り間隔をあげ、脱衣室では3密に注意してください。



＜大浴室 脱衣所＞

4. 団体指導者は、利用者が3密にならないようご注意ください。なお、浴室利用にあたっては脱衣かごがありませんので、袋等の準備を各自お願いします。

5. 入浴の割り振り等については、3密を避け利用団体をお願いします。



＜大浴室 洗い場＞

6. ボディーソープやシャンプーは各自ご準備ください。

7. ドライヤーの貸し出しは当分行いません。必要に応じてご持参ください。

なお、宿泊室で使えるドライヤーは一部屋につき1台です。複数台同時に利用されるとブレーカーが落ちてしまいますので十分ご注意ください。

○研修室・事務室等の使い方

研修室

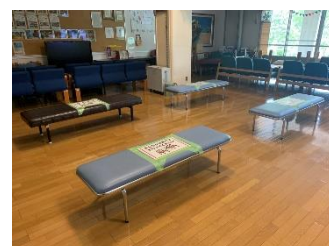
1. 研修室1・2の定員はそれぞれ24名です。
2. 活動内容、人数を考慮して事前に研修室を指定させていただきますので、指定された研修室内での活動をお願いします。
3. できる限り窓やドアを開けるなどして、換気に努めてください。
4. 研修室内においてもマスクを着用し、入室の際には団体が持参した消毒液にて可能な限り手指の消毒行ってください。
5. 使用後については、入所時に配布した研修室点検チェックシートを基に高頻度接触部位（スイッチ、ドアノブ、掃除用具庫の取手、窓の鍵など）や使用したテーブル・椅子等を所が準備した消毒液にて消毒作業にご協力ください。

事務室

1. 窓口での対応となりますので、入室はご遠慮ください。

中央ホール・仲よしホール

1. 3密に注意しながらご利用ください。なお、長時間の滞在はご遠慮ください。



○所バスの利用について

1. 所バスについては乗車定員を20名といたします。定員を超える場合は、各団体にて他の移動手段を講じてください。
事前に確認させていただきます。
2. 乗車中は換気のため窓を開けて走行します。身体を乗り出さないようにご注意ください。また、乗車時には必ず持参した消毒液にて手指の消毒をお願いします。
3. 各団体におかれては、緊急車両の準備をお願いします。



○利用日前日までの所員による確認

ご利用日前日までに当所員より担当者様あてに各種準備物やプログラム内容、感染防止対策注意事項等について、お電話にて再確認のご連絡をいたしますのでご承知願います。

新型コロナウイルス感染症発生、感染拡大防止のため
利用ルールの徹底・遵守をお願い致します。

※2020年8月1日制定

※2020年9月1日改定

○利用制限3項①について、利用制限体温を37.5℃より37.0℃へ引き下げました。

○所バスの利用1項、定員を超える場合について表現を一部変更いたしました。

○利用日前日までの所員による確認を追加いたしました。

※2021年4月1日改定

○利用制限2項 令和3年度についてもロッジの利用を休止いたします。

○食堂の使い方6項 おかわりについて変更になりました。

○ 活動プログラム

具体的な「活動プログラム」について紹介します。

※ 活動形態について A=学校・社会教育団体の主体的活動 B=所員の事前指導による活動
C=所員(ボランティア指導者を含む)の指導による活動



項目	No	活動名	活動内容	所要時間	対象	活動形態
野 外 活 動	キャン プ 活 動 A	1 野外炊飯	・ 3密に注意しながら炊飯場で野外炊飯を行い、非日常の生活の中で工夫し協力し合って食事を作っていき楽しさを体験する活動 (4月中旬～10月末)	調理・片付け 3.0	小4以上	B
		2 キャンプファイヤー 第1(70人)、第2(100人) 第4(50人)	・ 大自然に囲まれた厳粛な雰囲気の中で、聖なる火を迎え燃え上がる火のもとに、ゲームやスタンプなどで友達同士協力し合い、友情を育む活動 (4月中旬～10月末)	1.5	幼児以上	A
		3 キャンドルファイヤー 体育館(80人) 総合活動館(70人) 中央ホール(30人) 第1研修室(20人)	・ ろうそくの炎を見つめながら歌やゲーム、スタンプ等を通して、友情・親睦を深める活動 (ろうそく等の準備は必要ありません)	1.2	幼児以上	A
		4 キャンピング (テント設営・撤収)	・ みどりの中で自分たちの泊まるテントを張り、自然の変化に適応した生活ができる技術や能力を養い、友情や協力の大切さを体得する活動。また、キャンプの原点である「来たときと同じ自然の姿に戻して立ち去る」ことを通して、撤収作業を分担し協力し合い、友情を育む活動	1.0 ～ 2.0	小4以上	A・B
	自然 ふ れ あ い 活 動 B	1 自然散策	・ エリア内を自由に歩き、森林浴をし、体全体で自然を感じる活動	1.0	幼児以上	A
		2 フィールドビンゴゲーム	・ ビンゴゲームの自然版。楽しい雰囲気の中で五感を働かせて自然界からの発見や感動を得る活動	1.0 ～ 1.5	幼児以上	B
		3 フィールドワーク * 赤コース * 青コース(ショート・ロング)	・ 木の枝などに取り付けられた案内表示を頼りに、定められたコースを班で協力し合って木に取り付けられたカードを探しながら、周りの自然に親しむ活動	1.5 ～ 2.0	小4以上	B
		4 フィールドアドベンチャー	・ エリア内に設置された様々なアスレチックに挑戦し、体を動かすことの楽しさや充実感を味わう活動	1.0	小3以上	B
		5 スコアオリエンテーリング	・ 絵地図を頼りに、山中に設けられた20個のポストを制限時間内に数多くチェックしてくる活動	1.5 ～ 2.0	小4以上	B
		6 スタンプラリー	・ エリア内にある名所を、地図を頼りに探し、制限時間までにそれぞれの場所でスタンプを押して戻ってくる活動	1.5 ～ 2.0	小3以上	B
		7 ウォークラリー A 名勝コース 4km B 田園コース 4km	・ グループで、見知らぬ土地へ向かってスタートし、進行方向を示すコマ地図を頼りに進み、途中でいろいろな課題を解決しながら、広大な自然の中のコースを一周する活動	2.0 ～ 2.5	小4以上	B
		8 登山 * 安積山 * 高旗山 * 御霊櫃峠	・ 山を舞台に、自己の体力に挑戦し、互いに助け合い、励まし合い山頂を征服する喜びを体験し、登山への興味関心を高める活動(送迎要相談)	3.0 ～ 7.0	小5以上	A・B
		9 ナイトハイキング C 尾根めぐり・D 馬の鞍 E 本館裏コース	・ 暗くなった山道を小さな明かりを持って歩き、きらめく星、静まりかえった自然をながめ、夜の間の体験をすることができる活動	0.5 ～ 1.5	小3以上	A
		10 雪遊び・そりすべり	・ 雪に親しみながら雪遊びや体力づくりをする活動	1.5～ 2.0	幼児以上	A

		11	星空ウォッチング	・ 四季の代表的な星座や明るい星や月を、肉眼や双眼鏡により観察し、天体への関心を高める活動	1.0	小4以上	A
--	--	----	----------	---	-----	------	---

項目	No	活動名	活動内容	所要時間	対象	活動形態
スポーツ・レクリエーション	1	伝承遊び (室内ゲーム)	・ こま回し、けん玉、だるま落としなどの伝承遊びやトランプ・オセロ・輪投げなどの室内ゲームを楽しく遊ぶ活動	1.0 ～ 2.0	幼児以上	A
	2	旗取りゲーム	・ 広い山野を舞台に、互いの陣地の旗をとり合う楽しさを味わう活動	1.0 ～ 1.5	小4以上	B
	3	室内スポーツ	・ 各種の屋内スポーツ（ミニバスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球・剣道・Tボール・Xロープ・ボーリングなど）を体育館で行う活動	自由 (21:30 まで)	幼児以上	A
	4	室内サーキット	・ 子どもの興味・関心や運動機能を考えたトランポリン、ロープコースター、マルチトレナー等18種類のアスレチックで汗を流す活動	自由 (21:30 まで)	幼児以上	A
	5	アーチェリー	・ 18メートル離れた標的を射抜き、得点を競う楽しさを味わうとともに精神の集中を養う活動 (4月～10月)	1.0 ～ 1.5	小3以上	C
	6	マウンテンバイク	・ マウンテンバイクで田んぼ道やきのこ岩といった自然あふれるコースを駆け巡る活動	0.5 ～ 1.0	小3以上	A
	7	インラインスケート	・ インラインスケートシューズを履いて、加速感やスピード感を味わうとともに、バランス感覚を養う活動	1.0 ～ 1.5	小3以上	C
	8	フリスビーゴルフ	・ フリスビーを使って、ディスクキャッチャーに少ない回数で入れることを楽しみながら、集中力を高めていく活動	1.0	幼児以上	A・B
	9	グランドゴルフ	・ ゴルフをアレンジしたもので、人数制限や時間制限がなく、だれでも気軽に楽しめる活動	1.0	小4以上	A・B
	10	フロッカー (室内カーリング)	・ 室内で行うカーリング。目標のストーンをグループで協力し合いながら、自分たちのストーンを目標に限りなく近づけて勝敗を決める活動	1.0 ～ 2.0	小3以上	A・B
	11	室内アーチェリー	・ 吸盤が取り付けられた矢を使って壁に取り付けられた的をねらう活動	1.0	小3以上	C
	12	サザンピー チャレンジランキング	・ 班で協力し合って、10種類の簡単なゲームを行う活動(全種目をやらずにいくつかのゲームを選択することも可能)	1.0	幼児以上	A
	13	室内ペタンク	・ 標的のボールにむかって、2チームでボールを投げ、どちらがより標的に近づけるかを競う活動 (本所にあるのは1セットのみです)	1.0	小3以上	A
	14	ビンゴボードゲーム	・ 木のクラブを使って、ボードをねらってボールを打ち得点を競う活動	1.0	小3以上	A
	15	キンボールスポーツ	・ 直径1メートルのボールを落とさないようにチームで協力し合って行う活動(ボールを使っての玉ころがしなどのレクリエーションを行うことも可能)	2.0	小3以上	A
	16	スナッグゴルフ	・ スナッグゴルフ専用のボールをクラブで打って、ホールに入れるまでの打数を競い合う活動	1.0 ～ 1.5	小5以上	A・B

		17 New	スラックライン	・樹木間に張り渡したライン(弾力性)の上を歩く、飛び跳ね バランス感覚や集中力を鍛える活動	1. 0	幼児 以上	A

項目		No	活 動 名	活 動 内 容	所要 時間	対象	活動 形態
文化・ 創造 活動	文化・奉仕活動D	1	施設を訪ねて ＜各種コース＞	・ 明治以来、百年余の歩みの中で文化財として残されている 安積開拓の歴史を尋ねたり、堀口浄水場、河内ごみ焼却場 などの社会科見学と自然観察活動等と組合せたりすることも も可能 ※(必)自然の家出発～自然の家到着	団体 計画	小3 以上	A
		2	室内研修	・ 研修室などを利用して自然の風を感じながら、自己研修をする 活動・小会議(研修室 2 部屋・24名程度)	団体 計画	どなたでも	A
		3	ボランティア	・ 本館周辺やエリア内などの樹木の手入れや枯れ草の処理、 ゴミ拾いなど安全・環境美化をする活動 (短時間でも実施可能)	団体 計画	どなたでも	A
	クラフト活動E	1	森の標本箱	・ いろいろな形の自然物(木片パーツやどんぐり、まつぼっくり など)を加工し、自分だけのマスコットを作るクラフト活動	1. 0	幼児 以上	C
		2	オリジナルうちわ	・ うちわに自由に絵を書いて、うちわを作るクラフト活動	1. 0 ～ 2. 0	幼児 以上	
		3	焼き板	・ 杉板を焼き、特殊ペイントでオリジナルのデザインをし、案内 板、表札等をつくるクラフト活動(絵の具が乾くまでに時間が かかります)	1. 0 ～ 2. 0	小4 以上	
		4	革細工	・ 牛革をいろいろな形にし、刻印をたたいて自分の好きな模様 をつけキーホルダーを作るクラフト活動	1. 0	小3 以上	
		5	プラ板キーホルダー	・ プラスチック板に自由に絵を描き、トースターを使って加工 し、オリジナルのキーホルダーを作るクラフト活動	0. 5 ～	どなたでも	
		6	缶バッジ	・ 写真や自分で描いた絵を缶バッジに仕上げるクラフト活動	0. 5	どなたでも	
		7	万年カレンダー	・ 木材のパーツを組み合わせてデザインを考えたりしながら 制作するクラフト活動	1. 0	小4 以上	
		8	草木染め	・ 草木の汁でハンカチや布等を染め、色の変化や模様を楽し むクラフト活動	1. 0	幼児 以上	
		9 New	万華鏡づくり	・ 三枚のミラーを組み立てて、筒に押し花を貼ったり、花びらや 自然物を入れて、オリジナルの万華鏡を作るクラフト活動。	1. 0	幼児 以上	
		10 New	コマづくり	木製のコマにマジックで自由に絵を描き、日本の伝統的なおも ちゃであるコマまわしを体験する活動	1・5	幼児 以上	
		11 New	マーブリング染め	・大理石(マーブル)のような模様を布に移す技法 専用の絵の具(または墨)を水面にたらし それを布に写し模様を楽しむ活動	0・5	幼児 以上	
		12 New	わりばし飛行機	・工作用紙と割りばしを使って飛行機を作成 二つに割った割りばしの片方が輪ゴムを使った発射台になる ため、風がなくても飛ばすことが可能 羽を調節し飛び方を変えながら皆で楽しむ活動	1. 0	小 1 以上	
		※	絵手紙 (出前講座のみ)	・ 文章を添え、絵手紙風に仕上げるクラフト活動	1. 0 ～ 2. 0	どなたでも	
		※	張り子面 (出前講座のみ)	・ 三春駒で知られる高柴デコ屋敷に継承されている「三春張子 の面作り」をとりあげたクラフト活動(乾燥に 1 週間ほどかかり ます。郵送または実際に取りに来ていただきます)	1. 0 ～ 2. 0	小4 以上	

日帰り利用団体 体調確認表

利用団体名 _____

利用月 日 月 日 曜日

※症状がある際は、該当する項目に○を付ける。 ※所員の確認を必ず受けてください。

No.	氏 名	計測	体温	咳	痰	のど痛	頭痛	倦怠感 等	確認
1		入所時	℃						
		退所時	℃						
2		入所時	℃						
		退所時	℃						
3		入所時	℃						
		退所時	℃						
4		入所時	℃						
		退所時	℃						
5		入所時	℃						
		退所時	℃						
6		入所時	℃						
		退所時	℃						
7		入所時	℃						
		退所時	℃						
8		入所時	℃						
		退所時	℃						
9		入所時	℃						
		退所時	℃						
10		入所時	℃						
		退所時	℃						
11		入所時	℃						
		退所時	℃						
12		入所時	℃						
		退所時	℃						
13		入所時	℃						
		退所時	℃						

14		入所時	℃						
		退所時	℃						
15		入所時	℃						
		退所時	℃						
16		入所時	℃						
		退所時	℃						
17		入所時	℃						
		退所時	℃						
18		入所時	℃						
		退所時	℃						
19		入所時	℃						
		退所時	℃						
20		入所時	℃						
		退所時	℃						
21		入所時	℃						
		退所時	℃						
22		入所時	℃						
		退所時	℃						
23		入所時	℃						
		退所時	℃						
24		入所時	℃						
		退所時	℃						
25		入所時	℃						
		退所時	℃						
26		入所時	℃						
		退所時	℃						
27		入所時	℃						
		退所時	℃						
28		入所時	℃						
		退所時	℃						

宿泊利用団体 体調確認表

利用団体名 _____ 利用月 日 月 日 曜日 ~ 日 曜日

※症状がある際は、該当する項目に○を付ける。 ※所員あるいは警備員の確認を必ず受けてください。

No.	氏 名	計測	体温	咳	痰	のど痛	頭痛	臭覚・味覚の異常等	確認
1		入所時	℃						
		就寝時	℃						
		起床時	℃						
		退所時	℃						
2		入所時	℃						
		就寝時	℃						
		起床時	℃						
		退所時	℃						
3		入所時	℃						
		就寝時	℃						
		起床時	℃						
		退所時	℃						
4		入所時	℃						
		就寝時	℃						
		起床時	℃						
		退所時	℃						
5		入所時	℃						
		就寝時	℃						
		起床時	℃						
		退所時	℃						
6		入所時	℃						
		就寝時	℃						
		起床時	℃						
		退所時	℃						
7		入所時	℃						
		就寝時	℃						
		起床時	℃						
		退所時	℃						

8		入所時	℃						
		就寝時	℃						
		起床時	℃						
		退所時	℃						
9		入所時	℃						
		就寝時	℃						
		起床時	℃						
		退所時	℃						
10		入所時	℃						
		就寝時	℃						
		起床時	℃						
		退所時	℃						
11		入所時	℃						
		就寝時	℃						
		起床時	℃						
		退所時	℃						
12		入所時	℃						
		就寝時	℃						
		起床時	℃						
		退所時	℃						
13		入所時	℃						
		就寝時	℃						
		起床時	℃						
		退所時	℃						
14		入所時	℃						
		就寝時	℃						
		起床時	℃						
		退所時	℃						
15		入所時	℃						
		就寝時	℃						
		起床時	℃						
		退所時	℃						

◆ 郡山自然の家見取り図

